



文京区議会議員 松下純子  
区政報告  
平成24年 13号



手話で『こんにちは!』という意味です。

## 24年度予算が決定しました

大切な税金を1円も無駄にしたいくない!

松下純子の大きな目標は『税込以外の収入を見つける』『当たり前前に続けている事業の徹底見直し』

です。今年度予算では財調基金(貯金)が約38

億円使われています。基金の利用に関しては、区民が納得でき将来の不安とならないような計画や、明快な説明が必要と感じます。詳しくは次ページ以降。

## 見えない体験を通して見えたこと

「今日から目の不自由な方を見かけたら、必ず声をかけようと思います!」これはガイドヘルパー研修に参加した中高生全員の感想です。

文京区視覚しょうがい者協会のご協力をいただき、ガイドヘルパー研修(視覚しょうがい者の移動をお手伝い)を行いました。約3時間アイマスクをした状態で買い物、食事、会議をし「見えない」という体験をしたことで、学生たちの顔つきがとても真剣になり“見えなかった思い”が見えてきたのです。



見えない体験での買い物風景

## 素敵なおせっかいの仕方に気づく

『「見えない」体験はとても不安で怖く体がすくんでしまった。』

「誰かにトントンと肩をたたかれて手を差しのべられた時に泣きたいほど嬉しかった。」

「次は手話や移動支援の研修を受けたい。」

「街で勇気を出して声をかける必要性を心から感じた」と、生徒たちは語ってくれました。私は胸が熱くなりました。目の見えない体験をすることで、声をかける勇気やタイミングなど、素敵なおせっかいの仕方に気づいたので。小さい時からこうした体験を通じ、人を思いやる温かい気持ち、そして実際に行動できる人を増やしていきたい。そのために幼保小中学校にガイドヘルパーや手話の研修を提案し続けます。特別な人だけがしょうがい者に向き合うのではなく、誰もが不安で困っている人に何気なく手を貸せる、声をかける・そんな文京区を実現します。



吉田会長、河野副会長と共に

## 続・松下純子が文京区の『お金』について考えました

区が選んだ主な24年度抜粋事業の紹介と、純子が着目した事業に対し純子意見を述べます。

### 大規模地震に備えた子育て関連施設の安全対策

子どもの安全・安心をより一層確保するため、子育て関連施設において、備品類の転倒、落下、自走等への対策や、利用時に災害が発生した際に必要な飲食料等の備蓄物資を配備します。

☆純子意見 設備などハード面の強化もさることながら、私立幼稚園保育園等の耐震等級の公表(区立はしている)、転倒落下自走に対しては備え付けの家具に変えるなどの工夫、帰宅困難が予想される保護者に対しての子供の預かり体制を考えるなどの根本的な安心の提供も大切。備蓄に関しては一律にするのではなく、各施設のそれぞれの状況を考慮して無駄なく整備して欲しい。

### 不活性ポリオワクチン予防接種

国により平成24年秋に導入が予定されている不活性ポリオワクチン予防接種について、今後の国の動向に適切な対応ができるよう準備を進めます。

☆純子意見 今までの三種混合から四種に改良されることで、接種もれを防ぐ効果が期待でき安心の提供につながる。国の決定の前に予算を確保した英断に感謝します。文京区に住んでいて良かったと思われる心強いサポートを多方面で期待します。

### 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成

高齢者の任意予防接種の中で、その効果と必要性が高いとされている肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成し、肺炎の重症化防止等感染症予防を強化します。

☆純子意見 肺炎は高齢者死亡原因の上位。より多くの方に助成の存在を知ってもらう為に、広報に力を入れてほしい。また嚥下障害(うまく噛めないまま飲み込み、食道で詰まる)も死亡原因の上位なので噛む力が衰えないような口腔内サポートも大切。元気な高齢者を増やすためにできる事を提案し続けます。

### 障害者24時間安心相談・サポート事業

障害者(身体・知的・精神)に対し、24時間365日対応できる相談支援体制を整備するとともに、他の障害福祉サービスとの連携を図り、障害者が安心して地域生活ができるよう支援します。

☆純子意見 NHKのニュースにもなった全国ファーストワン事業に期待。24時間いつでもつながることは本当に安心。このサポート事業を利用したい人に知らせたい。そのための広報が大切になってきます。しょうがい者だけでなく、子どもの電話相談やDVなどの相談も24時間対応になってくれると安心が増えます。区に要望していきます。

## 森鷗外生誕150年記念事業・石川啄木100年記念事業 観光土産品「文の京ゆかりの文人銘菓」の開発支援

森鷗外記念館開館(11月)に向け、鷗外をはじめとする区ゆかりの文人にちなんだ土産菓子を区内の菓子製造・販売店に開発してもらい、多くの文学者を育んだ地として文京区をPRします。

☆純子意見 文京区の素晴らしさを、観光を通じて全国にアピールできるチャンス!文京区にゆかりのある文豪に感謝し、たくさんの方が来て楽しんでくださる事を希望します。しかし記念館にしょうがい者割引(同伴者)がない事に不納得。再検討を働きかけています。

## 災害時安全・安心整備事業

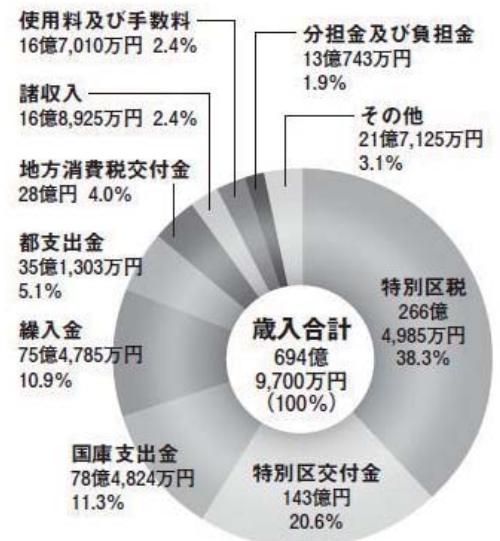
災害時の避難所である区立小中学校において、より安心かつ安全な避難生活を送るための整備や、震災の教訓を踏まえ、情報伝達体制の確保のために防災行政無線の整備を行います。

☆純子意見 区は7千万円かけてソーラー電灯を各小中学校に設置する予定です。すでに6機が設置されていますが、わたしは残りの導入は効果を見て慎重にすすめることを提案します。どうぞ実物をご覧ください。情報伝達に関しては、誤作動なく有効に使えるかが勝負です。聞きづらい地域の把握と、その解消を区に訴えてまいります。

## 今回の予算で純子が気になった事

景気低迷で税収入減少が見込まれる為、各部で一律5%の予算カットを区長が決めた。結果約6億円の予算減少になったが、注目すべきは何がどう減らされたか?だと思う。節約すべき事業と逆に予算を増やすべき事業があり、各部での一律カットに私は不納得。偏りが出たとしても、全ての事業を検討し節約すべき予算をピックアップしてほしい。中でも一番心配なのは育成室しょうがい者担当非常勤職員の就労時間のカット。就業実態が無いと判断され実質2時間のカットをするとのことだが、給与が減る事への配慮はされているのか。優秀な人材が確保できるのか。子どもと直接かかわる部署の話だけに、職員の質、保育の質を保つため区には慎重に検討を続けて欲しい。

『最小の経費で最大のサービス』の考えを基本に、人に優しく有意義な予算を立てる事が前提。しかし予算に従うだけでなく、時として決算の数字が予算と変わっても区民が満足できる臨機応変な執行も必要だと思います。無駄使いはしないけれど、必要なところ、困っている人に温かな手が届く行政。これを実現するために、最終判断をするのは区長です。さすが文京区と言われる「判断」に大いに期待します。





## 点字ブロック延長

5年間の思いが通じ、シビックセンター入口からエレベーターまでの点字ブロックが設置されました。9階のしょうがい福祉課まで点字ブロックが延びることを強く願います。細い形や新しい素材のブロックも開発されてきました。

誰もが暮らしやすい街、文京区を実現していきます。



シビックセンター内エレベーターまで延びた点字ブロック、嬉しい

ふみのみやこ

## 文の京バリアフリートーク

視覚しょうがい者や聴覚しょうがい者だけでなく、誰にでもわかりやすい区政報告の発信を開始。DVDは5月中にできあがり、お披露目できる予定です。初めての事で課題ばかりですが、一人でも多くの方に知っていただけるように頑張ってみます。後日HPにアップします。



キャスター気分で渡辺議員と収録

## 文教委員会視察…岡山、倉敷

岡山市では大学生を含むボランティア登録者数の多さに驚き、倉敷市では子育てをサポートしたいという姿勢が、市全体で見られました。また児童館や育成室で、しょうがい児を定数で考えない受け入れ態勢には心から感動。こうした考えが真の人権教育や平等教育につながると感じました。



子育て中の人々が孤立しない場所作りの現場

## “Sign with Me”

手話者で営む素敵なスープ専門店。手話がなくてもスタッフの優しい心づかいで、心配なく注文できます。食べるスープと飲むスープ、パスタやスイーツがあり、飲み物も充実しています。貸しスペースとしても利用できます。とても居心地良く安心できる空間へぜひ行ってください。スープもケーキもとっても美味しいです。

文京区本郷 5-23-11 2階

お店の前で『美味しい』の手話



## 安心安全すっきり道路

3.11の震災以来、歩道のスペース確保がとても重要だと考えます。現在は自転車や置き看板、植樹などでスペースが占められています。植樹を低木から高木中心に移行するなど、スペースを生み出す施策を提案しています。緑も大切ですが、歩道以外の場所に集めるなどの工夫も必要と考えます。

幅広道路での自転車専用レーン取り入れなど、人に優しい歩きたくなる文京区を目指します。



歩きたくなるすっきりとした歩道

## 生ゴミからのたい肥づくり・緑のゴミ銀行

### ～ゴミ処理費用削減への道

区民の皆さまによる、生ごみからのたい肥作りがお茶の水橋下で行われています。生ごみを3億円以上かけて処理するか、資源にするのか、真剣に考える意味があります。ほんのりぬかみその香りがするたい肥は大人気ですぐなくなるとの事。ごみ問題だけでなく地球温暖化の問題を皆さまと考えていきたいです。ご意見をお待ちしています。

NPO緑のゴミ銀行の方々が心を込めたたい肥が育っています



# 『生ゴミの水はしぼる。紙ゴミは分ける』で6億円削減を訴え続けてまいります。



代表質問で訴える純子

<http://www.matsushitajunko.jp> またはFAX 3814-1518までご意見おきかせください。